

ホタルイカを使った学校給食



旬のホタルイカを使った給食が4月17日、市内の小中学校と幼稚園に登場しました。約15,000匹のホタルイカの目玉を手作業で取り除き調理された献立は、ホタルイカを天ぷらにした“ホタルイカポンポン”。油で揚げた際のポンポンという音とチョコレートポンポンに様子が似ていることから名づけられました。

田中小学校では市長やキラリンを招いて会食が行われ、給食の途中、キラリンからホタルイカに関するクイズが出題されるなど、ホタルイカの生態について楽しく学びながら、旬の食材を味わっていました。

新緑に囲まれリフレッシュ



5月2日から5日までの4日間、東福寺野自然公園でゴールデンウィークイベントが行われ、家族連れなど多くの利用客で賑わいました。公園では、この期間限定でミニ北陸新幹線の運行や、犬型ドームが設置されたほか、常設されているふわふわドームや、滑り台、アスレチック遊具などで子どもたちが元気に遊んでおり、笑い声が終始響き渡っていました。

このほか、利用客らは、バドミントンや凧揚げ、日光浴など、それぞれのスタイルで、余暇を楽しそうに過ごしていました。

春の訪れ ホタルイカ祭り



ホタルイカ漁が最盛期を迎えるなか、4月25日にほたるいかミュージアム周辺で“春のホタルイカ祭り2015 in 滑川”が開催され、観光客や家族連れで賑わいました。

会場では、ホタルイカを金魚すくいのボーイスクイ、その数を競う、“ホタルイカすくいコンテスト”や“滑川名物大食いコンテスト”、ホタルイカの目玉を口に含み、飛ばした距離を競う“ホタルイカ目玉とばしコンテスト”など、ホタルイカを用いた各種コンテストが行われ、盛り上がりを見せていました。

こどもの日イベントを開催



5月5日のこどもの日にあわせ、子ども図書館でこどもの日イベントが行われました。

このイベントは、(一財)自治総合センターの宝くじ社会貢献広報活動の一環である「コミュニティ助成事業」の助成金を利用して行われたもので、イベントでは簡単なクイズに挑戦するクイズラリーや、こいのぼりのおもちゃを作る工作コーナー、キラリンのぬり絵コーナーが設けられたほか、大きなカブを題材にしたペープサート(紙人形劇)、マジックショーなどが行われ、会場に集まった子どもたちは楽しそうに過ごしていました。

新児童館の建設にむけ



新たな児童館を建設するにあたり、工事が無事故で進められるようにと5月9日、建設予定地で安全祈願祭が行われました。安全祈願祭には工事関係者をはじめ、地権者、市議会関係者などおよそ30人が出席。その土地に建物を建てることを神に告げる祝詞奏上や、玉串奉奠などが行われました。

新しい児童館は、一部2階建て、延べ床面積は約920㎡。八角形の「あそびのホール」と運動室の2棟で、市有林の杉材を利用した温もりのある児童館として、来年の3月完成予定です。

昨日よりも速く!高く!



青空のもと、5月14日にスポーツ・健康の森公園で学童体育大会が開催されました。

大会には市内小学校5・6年生あわせて641人が参加し、100m走、走り高跳び、走り幅跳び、60mハードル走、ソフトボール投げ、400mリレーの6種目で記録が競われました。

児童らは、クラスメイトや保護者からの声援を受けながら、元気いっぱいにトラックを駆け抜け、日ごろの練習成果を披露しました。

食を学び食を知る



子どもたちに滑川の魅力を再発見してもらおうと、「見て体験して食べよう なめりかわ食育教室」が5月16日に開催されました。はじめに、滑川蒲鉾でカマボコの絵付けを体験し、ホタルイカや竜宮城など、思い思いの絵付けをおこなったあと、市民交流プラザに移動。朝捕れたばかりの魚介類を調理する食育教室が行われました。

滑川漁業協同組合女性部の指導のもと、子どもたちは保護者に手伝ってもらいながら、イカと野菜の和風炒め、焼き魚のませご飯、甘エビすり身の味噌汁の3品を調理。最後は完成した料理を美味しく食べていました。

はっけよいのこった!



滑川青年会議所が主催する、わんぱく相撲ほたるいか場所が5月17日、東部小学校で開催されました。

わんぱく相撲は例年、総合体育センターにて行われていますが、今年は6月21日に行われる同競技の富山ブロック大会が東部小学校で開催されるのにあわせ、同校で行われました。

今大会には市内小学校に通う1~6年生およそ30人が参加。大会は学年別に行われ、保護者からの声援を受けながら、気迫に満ちた表情で競技に取り組んでいました。